

神石高原地域創造チャレンジ基金

議案書

議案

- 第 1 号議案 平成 29 年度 事業活動報告
- 第 2 号議案 平成 29 年度 収支決算報告
- 第 3 号議案 平成 30 年度 事業活動計画
- 第 4 号議案 平成 30 年度 予算計画
- 第 5 号議案 公益法人申請に関する事項
- 第 6 号議案 その他関連事項

神石高原地域創造チャレンジ基金は、まったく新しいタイプの地域に貢献する基金として、2017年9月に設立されました。

当法人は、神石高原町地域における産業の振興をはかり、地域のにぎわいを創出することにより、当該地域の事業体の運営を支援し、当該地域が継続的なコミュニティとして発展拡大することに寄与することを目的に設立されたもので、主として、神石高原地域で新しいビジネスチャレンジを行う事業者に対して、資金的な資源提供を行うと同時に、伴走型支援と呼ぶ経営指導を一緒に実施していくことで、事業者の経営を安定化させると共に、自律的な運営を促すことで、新規の事業者参入を容易にするためのものです。極端に少子高齢化と人口減少が進行した神石高原町であるからこそ、次代を担う人材の新しいチャレンジをどんどんと応援することで新しい事業創造を図り、地域の活性化、にぎわい創出に繋げていきたいという入江町長の強い決意から生み出されたものです。初年度としては、変則期ながら、基金の設立とともに記者発表を行い、また第1回目の事業募集を開始、支援先の決定までを行ってまいりました。基金検討の段階から、本当にこの地域でビジネスチャレンジしようという事業者がいるのか、ニーズはそもそもあるのかが懸念されましたが、ふたを開けてみると応募ベースでは1億5000万円にも及び、また相談の段階では潜在的な資金調達ニーズは確かなものであり、条件さえ整えば神石高原地域での事業創造しようというビジネスチャレンジ事業者は確かにいるのだという確信が生まれてまいりました。全国的にもユニークなこの取り組みが地域創造におけるひとつのロールモデルとして、他地域においても横展開できるようにノウハウを蓄積してまいりたいと思う所存です。

また、基金の発足、事業応募などの広報協力、運営に対するご助言、また寄附等の支援などをいただきました数多くの皆様のご厚情に感謝申し上げますと共に、ビジネスチャレンジ事業者の成功と次世代に対しての資金循環をもって、基金の成長として、期待に応えてまいりたいと存じます。引き続きのご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

第1号議案

【2017年度の事業活動報告】

<基金の運営方針>

チャレンジ基金の目的については、定款に明示いたしております。

[当法人の目的]

この法人は、神石高原町地域における産業の振興をはかり、地域のにぎわいを創出することにより、当該地域の事業体の運営を支援し、当該地域が継続的なコミュニティとして発展拡大することに寄与することを目的とする。

チャレンジ基金ではこの目的を達成するために、ビジネスチャレンジのための新しいタイプの基金として次の3つの特色をもっております。

- 助成金/補助金のあり方を変える
- 新しいビジネス事業者のチャレンジを呼び込む
- 金融機関を始め、地域の連携ネットワークを活かす

また、事業の範囲として、定款には以下の4項目を掲げております。

【実施する事業】

- (1) 産業の振興及び地域のにぎわいの創出に関する情報提供、普及・啓発に係わる事業
- (2) 上記事業を運営する事業体への事業資金支援
- (3) 上記事業を運営する事業体への事業運営支援
- (4) その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

<産業の振興及び地域のにぎわいの創出に関する情報提供、普及・啓発に係わる事業>

●事業募集の実施

チャレンジ基金では、ビジネスチャレンジ事業者に対する資金的支援+経営的支援を組み合わせ、サポートすることで、新しいタイプの支援を実施いたしました。

【支援案件の想定】

チャレンジ基金の支援先は、神石高原町にて事業展開を行い、神石高原地域の活性化に貢献する、「住民主役事業」として、創業もしくは新規事業立ち上げをされる事業者(法人もしくは、個人で当該事業を運営されることを検討されている事業者)を想定しており、具体的な事業領域は、以下の通りに想定しております。

- 1) 地域の産業資源を活用したビジネスに関する事業
 - ・あらゆる産業で地域内の資源を活用して事業を創出していくもの
- 2) 地域、コミュニティのにぎわいづくりに関する事業
 - ・新しい地域・コミュニティのにぎわいづくりに寄与するもの

申請上限額 3000万円(1件当たり)

【事業募集から選定、支援開始まで】

- ・理事会において、募集要項の承認(H29年10月31日)
- ・基金設立発表の記者発表を神石高原町で開催(H29年10月31日、メディア合計4社)
- ・神石高原チャレンジ基金のホームページ公開(H29年11月13日)
- ・募集要項の公開(H29年11月28日)
- ・募集要項を掲載した広報チラシの作成と配布
- ・第1回申込募集(期間：H29年11月30日～H30年1月25日)
- ・東京で記者会見、ビジネスチャレンジ事業者向けサポート開始を発表(H29年12月6日)
- ・事業募集説明会の神石高原町内への有線放送での告知(H29年12月11日)
- ・事業募集説明会を実施(H29年12月12日、13日)：合計3回、参加団体14件
- ・個別相談会実行(12月14日～1月25日、随時)：合計、参加団体5件
- ・募集締め切り時(H30年1月25日)、申込件数および金額(8件、1.5億円)
- ・申込者面談および案件相談の実施(H30年1月29～31日にて全先実施)

- ・最終申込件数（6件、1.2億円）
- ・事務局にて、チェックシートによる事業計画内容を検討(H30年2月1日～20日)
- ・第1回事業評価選定委員会の開催(H30年2月21日)、支援候補を理事会に答申
- ・理事会にて、支援先の選定を採択(H30年2月21日)
- ・案件採択件数および金額（4件、3,200万円）
- ・資金支援先との個別協議、調整(H30年2月22日～3月31日)
- ・資金支援決定通知書の送付(H30年3月21日)

【支援先及び事業内容の概略】

⇒採択した案件は以下の4件（但し、④は先方都合により翌年度に辞退された）

- ① 中ちゃん農園：資金支援額 200万円（申込金額200万円）
（支援対象）農産品加工事業の設備拡充
（実行要件）法人化を前提として資金支援を実行
- ② 株式会社サンリソース：資金支援額 1,000万円（申込金額3,000万円）
（支援対象）水力発電事業設備の修繕関連
- ③ 株式会社ヴィレッジホーム光末：資金支援額 2,000万円（申込金額3,000万円）
（支援対象）神石牛肥育事業の為の施設拡充関連
（実行要件）H29年度は1,000万円。残り1,000万円は事業進捗を確認して実行
- ④株式会社入江ミート：資金支援額 1,000万円（申込金額1,400万円）
（支援対象）神石牛の繁殖から販売までの一貫取扱い継続のための工場新設

【資金支援についての今後の取り組み】※次年度に持ち越し事項

- ・各支援先の最終資金支援スキームの検討と確定
- ・支援先に対する資金支援の実行契約書大枠の確定
- ・各支援先の支援体制の検討と確定（採択後の各支援先への面談8回）
- ・各支援先の支援に関するスケジュールの検討
- ・実際の資金的支援の開始
- ・実際の経営的支援の開始

<上記事業を運営する事業体への事業資金支援>

- 今年度は実施しませんでした。

<上記事業を運営する事業体への事業運営支援>

- 今年度は実施しませんでした。

<その他、当法人の目的を達成するために必要な事業>

- 組織基盤の確立

【評議員】H29年10月31日

理事、監事と合同で顔合わせ会として実施、今後の基金運営方針等を確認

【理事会】

<第1回理事会> H29年10月31日

- ・チャレンジ基金の各種規程の作成と承認
- ・事業計画と事業予算
- ・チャレンジ基金のコンセプトブックを作成、記者会見や外部に対して配布
- ・事業募集についてのスケジュール及びプロセスの確認

<第2回理事会> H30年2月21日

- ・事業評価選定委員会からの答申を受けて事業者の最終選定(4事業者を採択)
- ・経営ガバナンスの確認
- ・事業年度の評価と予算執行状況の確認
- ・次年度事業に関すること
- ・特に早期に公益財団法人化を前提として事業運営することが確認された。

【事業評価選定委員会】 H30年2月21日

- ・事前に理事会メンバーで委員の承認と委嘱、代表理事から招集通知を行った。
- ・事務局で整理した事業案件についての審査を行い、理事会に対して選定を答申

●業務運営基盤の確立

- ・経費処理プロセスの確立と運営
- ・担当税理士の選定と方針等を共有しての運営の実行
- ・会計ソフトの選定と導入および運営
- ・期中の経費実績の管理

●収益基盤の確立

- ・地元金融機関に対して、基金設立の説明と事業募集への協力と共に、基金への寄附依頼を行った。
- ・地元の有力企業、団体などについて、基金のコンセプト及び事業募集の説明、基金への寄附依頼を行った。
- ・神石高原町において、ふるさと納税による「がんばる神石高原町ふるさと応援寄附金」の使い道の一つとして「神石高原地域創造チャレンジ基金」を指定していただけるようになった。

[がんばる神石高原町ふるさと応援寄附金の使い道]

- (1) 次世代を担う人材育成事業
- (2) 子育て・若者定住支援事業
- (3) 誰もが尊敬し合えるまちづくり事業
- (4) 町内唯一の高校「県立油木高校」魅力化事業
- (5) 「神石高原地域創造チャレンジ基金」に関する事業
- (6) その他まちづくり全般に関する事業

- (7) 寄附を希望する団体（町内の自治振興会）を指定
 - (8) 寄附を希望する団体（町内に主たる事務所を置く NPO 法人）を指定
 - (9) 寄附を希望する団体（町内の協働支援センター）を指定
- ぜひご活用ください。

<http://www.jinsekigun.jp/ja/town/introduction/formation/kikaku/kikaku/furusatonouzei/>

・ふるさと納税紹介サイト「ふるさとチョイス」で、ふるさと納税の使い道として、チャレンジ基金が選べるようになった。

<https://www.furusato-tax.jp/japan/prefecture/usage/34545>

・寄附合計は団体（1 件、1,000 万円）個人（1 件、10 万円）の合計、1,010 万円であった。

●基金の広報関連

- ・ホームページ（jinseki-kikin.jp）の開設：トピックス記事 18 件掲載
- ・ニュースリリースの公開、合計 4 件
- ・フェイスブックアカウントの開設：いいね 35 件、各種リーチは 200 名以上、ニュースは常時アップし、合計 10 件以上発信（HPにも掲載）
- ・設立記者発表会を実施（H29 年 10 月 31 日）：新聞掲載 3 件
- ・基金関連メディア掲載記事は合計 14 件
- ・企業および団体への周知挨拶実施：合計 6 件

●後援・協賛・協力名義について

1.以下の事業に共催・後援・協力名義の使用を許可した。

【共催】

特になし

【後援】

特になし

【協力】

特になし

2.チャレンジ基金として、以下の会合に参画・提言を行った。

■[会議参加]

特になし

3.チャレンジ基金が、加盟している団体、連合体は以下の通り

特になし

第2号議案

【2017年度決算】

正味財産増減計算書

平成29年9月29日～平成30年3月31日

一般会計

(単位：円)

科 目	当 年	前 年	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取寄附金	[100,000]	[0]	[100,000]
受 取 寄 附 金	100,000	0	100,000
② 受取補助金	[3,300,000]	[0]	[3,300,000]
受 取 補 助 金	3,300,000	0	3,300,000
③ 雑収益	[88]	[0]	[88]
受 取 利 息	88	0	88
経 常 収 益 計	3,400,088	0	3,400,088
(2) 経常費用			
① 事業費	[1,713,704]	[0]	[1,713,704]
役 員 報 酬	150,000	0	150,000
業 務 委 託 費	915,840	0	915,840
旅 費 交 通 費	638,591	0	638,591
通 信 運 搬 費	6,577	0	6,577
支 払 手 数 料	2,696	0	2,696
② 管理費	[1,654,884]	[0]	[1,654,884]
役 員 報 酬	150,000	0	150,000
業 務 委 託 費	915,840	0	915,840
旅 費 交 通 費	542,168	0	542,168
通 信 運 搬 費	5,509	0	5,509
消 耗 品 費	17,731	0	17,731
地 代 家 賃	15,000	0	15,000
租 税 公 課	2,800	0	2,800
支 払 手 数 料	5,836	0	5,836
経 常 費 用 計	3,368,588	0	3,368,588
当期経常増減額	31,500	0	31,500
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	[0]	[0]	[0]
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経常外費用	[0]	[0]	[0]
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	31,500	0	31,500
一般正味財産期首残高	3,000,000	0	3,000,000
一般正味財産期末残高	3,031,500	0	3,031,500
II 指定正味財産増減の部			
受 取 寄 附 金	10,000,000	0	10,000,000
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	10,000,000	0	10,000,000
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	10,000,000	0	10,000,000
II 正味財産期末残高	13,031,500	0	13,031,500

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- | | |
|-----------------|--------------|
| (1) 固定資産の減価償却方法 | 有形固定資産・・・定額法 |
| | 繰延資産・・・均等償却 |
| (2) 消費税等の会計処理 | 税込方式 |

2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高 (単位：円)

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当 期 末 残 高
	0	0	0
合 計	0	0	0

3. 特定資産の増減及びその残高 (単位：円)

科 目	期 首 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高
普 通 預 金	3,000,000	10,000,000	0	13,000,000
	0	0	0	0
合 計	3,000,000	10,000,000	0	13,000,000

4. 特定資産の財源の内訳 (単位：円)

科 目	金 額	うち一般正味財産 からの充当額	うち指定正味財産 からの充当額	うち負債に対応 する額
普 通 預 金	13,000,000	3,000,000	10,000,000	0
	0	0	0	0
合 計	13,000,000	3,000,000	10,000,000	0

5. その他

当期は平成29年9月29日から平成30年3月31日までの約6箇月である。

貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年	前 年	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現 金 預 金	31,872,366	0	31,872,366
流 動 資 産 合 計	31,872,366	0	31,872,366
2 固定資産			
(1) 特定資産			
現 金 預 金	13,000,000	0	13,000,000
特定資産合計	13,000,000	0	13,000,000
(2) その他の固定資産	0	0	0
その他の固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	13,000,000	0	13,000,000
資 産 合 計	44,872,366	0	44,872,366
II 負債の部			
1 流動負債			
未 払 金	1,831,680	0	1,831,680
預 り 金	9,186	0	9,186
流 動 負 債 合 計	1,840,866	0	1,840,866
2 固定負債			
長 期 借 入 金	30,000,000		30,000,000
固 定 負 債 合 計	30,000,000	0	30,000,000
負 債 合 計	31,840,866	0	31,840,866
III 正味財産の部			
1 一般正味財産	3,031,500	0	3,031,500
2 指定正味財産	10,000,000	0	10,000,000
正味財産合計	13,031,500	0	13,031,500
負債及び正味財産合計	44,872,366	0	44,872,366

平成29年度 事業別正味財産増減計算書

平成29年9月29日～平成30年3月31日

一般会計

(単位：円)

科 目	法人合計	産業振興・ 地域活性化支援事業	法人会計
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取寄附金	[100,000]	[100,000]	[0]
受 取 寄 附 金	100,000	100,000	0
② 受取補助金	[3,300,000]	[1,645,116]	[1,654,884]
受 取 補 助 金	3,300,000	1,645,116	1,654,884
⑤ 雑収益	[88]	[88]	[0]
受 取 利 息	88	88	0
経 常 収 益 計	3,400,088	1,745,204	1,654,884
(2) 経常費用			
役 員 報 酬	300,000	150,000	150,000
業 務 委 託 費	1,831,680	915,840	915,840
旅 費 交 通 費	1,180,759	638,591	542,168
通 信 運 搬 費	12,086	6,577	5,509
消 耗 品 費	17,731		17,731
地 代 家 賃	15,000		15,000
租 税 公 課	2,800		2,800
支 払 手 数 料	8,532	2,696	5,836
経 常 費 用 計	3,368,588	1,713,704	1,654,884
当期経常増減額	31,500	31,500	0
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	[0]	[0]	[0]
(2) 経常外費用	[0]	[0]	[0]
当期経常外増減額	0	0	0
他 会 計 振 替 額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	31,500	31,500	0
一般正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
一般正味財産期末残高	3,031,500	3,031,500	0
II 指定正味財産増減の部			
受 取 寄 附 金	10,000,000	5,000,000	5,000,000
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	10,000,000	5,000,000	5,000,000
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	10,000,000	5,000,000	5,000,000
正味財産期末残高	13,031,500	8,031,500	5,000,000

CHALLENGE

神石高原地域創造チャレンジ基金

財産目録

平成30年3月31日現在

(単位：円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	金額
I 資産の部			
1 流動資産			
現 金	手元現金	運転資金として	0
普 通 預 金	福山市農業協同組合三和支店	運転資金として	31,771,357
	広島銀行油木支店	運転資金として	101,009
		流動資産合計	31,872,366
2 固定資産			
(1) 特定資産			
普 通 預 金	広島銀行油木支店	使途指定寄附金 寄附者の指定した用に供するために 管理している	10,000,000
	広島銀行油木支店	設立時拠出金 運用益を公益目的事業の用に 供している	3,000,000
		特定資産合計	13,000,000
(2) その他の固定資産			0
		その他の固定資産合計	0
		固定資産合計	13,000,000
		資 産 合 計	44,872,366
II 負債の部			
1 流動負債			
未 払 金		事務業務委託費	1,831,680
預 り 金		源泉所得税	9,186
		流動負債合計	1,840,866
2 固定負債			
長 期 借 入 金	事業資金借入	神石高原町	30,000,000
		固定負債合計	0
		負 債 合 計	1,840,866
III 正味財産の部			
1 一般正味財産			3,031,500
2 指定正味財産			10,000,000
		正味財産合計	13,031,500

監査報告書

一般財団法人神石高原地域創造チャレンジ基金

代表理事 上山 実 殿

私は、平成 29 年 9 月 29 日から平成 30 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事は、理事等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

平成 30 年 5 月 1 日

一般財団法人神石高原地域創造チャレンジ基金

監事

本郷 順子

監査報告書

一般財団法人神石高原地域創造チャレンジ基金

代表理事 上山 実 殿

私は、平成29年9月29日から平成30年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事は、理事等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

平成30年5月1日

一般財団法人神石高原地域創造チャレンジ基金

監事 岡崎武志 

第3号議案

【2018年度の事業活動方針】

<事業計画の基本方針>

極端に少子高齢化と人口減少が進行した神石高原町であるからこそ、次代を担う人材の新しいチャレンジをどんどん応援することで新しい事業創造を図り、地域の活性化、にぎわい創出に繋がっていきたいという決意のもとにスタートをきった神石高原地域創造チャレンジ基金は、第2年度を始めるにあたり、さらに拡大して地域の活性化をめざして運営してまいります。

引き続き「住民主役事業」に対し、本年度も合計3,000～5,000万円程度の資金支援実行をめざします。前年度に採択された事業先に対しては早急に契約締結、資金支援実行、各支援案件に対しては支援アドバイザーをそれぞれ選定し、経営実行の支援も実施します。継続支援を通じて各案件の事業価値が向上し、長期的に当初の資金支援部分が基金に償還され、その時点での地域活性化をめざして創業チャレンジする対象に資金支援が実行できることをめざします。

基金からの資金支援および運営に振り向ける資金を引き続き、民間からも広く寄附を募集。本年度は2,000万円の獲得をめざして募集広報活動を実施いたします。

<年度の実行目標>

- 事業募集の開始、説明会、個別相談会の運営、事業評価選定委員会の開催
- 既存支援先の具体的支援を開始し、ビジネス事業者の経済的・事業的な自律を目指す
- 神石高原町内での認知度を継続して向上させる
- ビジネスチャレンジ事業者を呼び込むために、他団体と協働して事業計画勉強会などの新しい取組を開始する
- ふるさと納税、個人、金融機関、企業、NPOからの寄附を拡大する
- 公益法人化に向けての具体的対策の開始

<本年度のスケジュール>

- ・7月～8月：第2回事業募集
- ・9月末：第2回支援先採択
- ・10月以降：案件毎順次支援開始
- ・11月～1月：第3回事業募集
- ・2月：第3回支援先採択
- ・3月以降：案件毎順次支援開始

以上

第4号議案

【平成30年度予算】

正味財産増減計画書

平成30年（設立2年目）

（単位：円）

科 目	30年度
一般正味財産増減の部	
1 経常増減の部	
(1) 経常収益	
① 受取寄附金	[5,910,000]
受 取 寄 附 金	200,000
受 取 寄 附 金 振 替 額	5,710,000
② 受取補助金	[3,700,000]
受 取 補 助 金	0
受 取 補 助 金 振 替 額	3,700,000
③ 雑収益	[300]
受 取 利 息	300
	0
経 常 収 益 計	9,610,300
(2) 経常支出	
① 事業費	[6,290,150]
役 員 報 酬	300,000
業 務 委 託 費	1,760,150
荷 造 運 賃 (通 信 運 搬 費)	100,000
広 告 宣 伝 費	300,000
会 議 費	50,000
旅 費 交 通 費	1,330,000
消 耗 品 費	0
雑 費	50,000
支 払 手 数 料	2,400,000
② 管理費	[3,320,150]
役 員 報 酬	300,000
業 務 委 託 費	1,760,150
旅 費 交 通 費	1,080,000
通 信 運 搬 費	50,000
事 務 用 品 費 (消 耗 品 費)	20,000
支 払 手 数 料	10,000
地 代 家 賃	30,000
租 税 公 課	10,000
雑 費	60,000
経 常 費 用 計	9,610,300
当期経常増減額	0
2 経常外増減の部	
当期経常外増減額	0
税引前当期一般正味財産増減額	0
法人税、住民税及び事業税	70,000
一般正味財産期首残高	3,031,500
一般正味財産期末残高	2,961,500
指定正味財産増減の部	
受 取 寄 附 金	20,000,000
受 取 助 成 金	5,000,000
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	9,410,000
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	10,000,000
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	25,590,000
II 正味財産期末残高	28,551,500

第5号議案

当法人は神石高原地域内外からの期待に応えるため、早急に公益財団法人化に向けての準備を進めるものとする

第6号議案

今回は理事会からの付帯事項はないため、削除する。

以上

- ロゴマークについて -



自然豊かな神石高原の山々と広い大空を背景にこの地域での新しいビジネスチャレンジが展開され、頂きを目指して、躍進続けていくことを願い、その思いをこのシンボルマークに込めました。

- 法人の概要 -

一般財団法人 神石高原地域創造チャレンジ基金 (略称:神石高原チャレンジ基金)

住 所 : 広島県神石郡神石高原町小畠 2 0 2 5 番地 (神石高原町役場内)

法人の設立年月日 : 平成 29 年(2017 年)9 月 29 日

評議員 : 森重純也、平川里土、黒木義昭、

理 事 : 上山 実(代表理事)、小林正和、井上義雄

監 事 : 岡崎武志、本郷順子

ホームページ ⇒ <http://www.jinseki-kikin.jp>

Facebook ページ ⇒ <https://www.facebook.com/jinsekikikin/>

神石高原地域創造チャレンジ基金

議案書

議案

第 1 号議案 平成 30 年度 収支決算報告

第 2 号議案 令和元年度 事業活動計画

第 3 号議案 令和元年度 予算計画

第 4 号議案 理事選任に関する事項

神石高原地域創造チャレンジ基金は、まったく新しいタイプの地域に貢献する基金として、2017年9月に設立。おかげさまで、令和元年度で3期目を迎えることとなりました。

当法人は、神石高原町地域における産業の振興をはかり、地域のにぎわいを創出することにより、当該地域の事業体の運営を支援し、当該地域が継続的なコミュニティとして発展拡大することに寄与することを目的に設立されたもので、新しいタイプの基金として資金的支援に加えて非資金的支援としての「伴走型支援」と呼ぶ経営指導を一緒に実施していくことで、事業者の経営安定化と自律運営の早期達成を目指します。この極端に少子高齢化と人口減少が進行した神石高原町であるからこそ、新しい事業創造を図り、地域の活性化、にぎわい創出に繋げていきたいという現町長の強い決意から生み出されたものです。

前年度は設立2期目となり、はじめて1年間を通じての事業運営を完遂しました。上半期と下半期において2回の支援案件公募を実施し、数多くの皆様方に説明会・セミナーへのご参加および実際の案件申し込みをいただき、選定委員会を経て、複数件の支援決定を実施できました。またあわせて初年度に資金支援決定済みの案件についても、経営的支援+資金支援を実行し、事業の推移を見守りながら、支援先の意向に沿った形での伴走支援を継続いたしてきております。

現在までに3回の案件募集におきまして、申し込みベースではありますが累計16件、3億円を超える支援依頼を頂戴し、この地域においてチャレンジする姿勢をもった事業者を顕在化させてまいりました。2期を通じて、この地域における潜在的な資金調達ニーズは確かな手ごたえとなり、条件さえ整えば神石高原での資源を活用して事業創造しようというビジネスチャレンジ事業者は確かにいるのだという確信を持つに至りました。この全国的にもユニークな取り組みが、地域外でも注目を集めており、地方創生・地域創造におけるひとつのロールモデルとして、他地域においても横展開できるように、引き続きノウハウを蓄積し、今後は発信もしてまいりたい所存です。

基金の運営に多大なるご助力をいただいております数多くのご厚情に感謝申し上げますと共に、新しいビジネスチャレンジ事業者の成功と次世代に対しての資金循環をもって、基金の成長として、期待に応えてまいりたいと存じます。引き続きのご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

ご報告事項： 平成30年度事業報告

【前年度の事業活動方針】

極端に少子高齢化と人口減少が進行した神石高原町であるからこそ、次代を担う人材の新しいチャレンジをどんどん応援することで新しい事業創造を図り、地域の活性化、にぎわい創出に繋げていきたいという決意のもとにスタートをきった神石高原地域創造チャレンジ基金は、第2年度を始めるにあたり、さらに拡大して地域の活性化をめざして運営してまいります。

引き続き「住民主役事業」に対し、本年度も合計3,000～5,000万円程度の資金支援実行をめざします。前年度に採択された事業先に対しては早急に契約締結、資金支援実行、各支援案件に対しては支援アドバイザーをそれぞれ選定し、経営実行の支援も実施します。継続支援を通じて各案件

の事業価値が向上し、長期的に当初の資金支援部分が基金に償還され、その時点での地域活性化をめざして創業チャレンジする対象に資金支援が実行できることをめざします。

基金からの資金支援および運営に振り向ける資金を引き続き、民間からも広く寄付を募集。本年度は2,000万円の獲得をめざして募集広報活動を実施いたします。

また、事業の範囲として、定款には以下の4項目を掲げております。

【実施する事業】

- (1) 産業の振興及び地域のにぎわいの創出に関する情報提供、普及・啓発に係わる事業
- (2) 上記事業を運営する事業体への事業資金支援
- (3) 上記事業を運営する事業体への事業運営支援
- (4) その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

<産業の振興及び地域のにぎわいの創出に関する情報提供、普及・啓発に係わる事業>

●事業募集の実施

チャレンジ基金では、ビジネスチャレンジ事業者に対する資金的支援+経営的支援を組み合わせでサポートすることで、新しいタイプの支援を実施いたしました。

【支援案件の想定】

チャレンジ基金の支援先は、神石高原町にて事業展開を行い、神石高原地域の活性化に貢献する、「住民主役事業」として、創業もしくは新規事業立ち上げをされる事業者(法人もしくは、個人で当該事業を運営されることを検討されている事業者)を想定しており、具体的な事業領域は、以下の通りに想定しております。

- 1) 地域の産業資源を活用したビジネスに関する事業
 - ・あらゆる産業で地域内の資源を活用して事業を創出していくもの
 - 2) 地域、コミュニティのにぎわいづくりに関する事業
 - ・新しい地域・コミュニティのにぎわいづくりに寄与するもの
- 申請上限額 3000万円(1件当たり)

【事業募集から選定、支援開始まで】

- ・ 第2回申込募集(期間: H30年7月2日~H30年8月31日)
- ・ 事業募集説明会の神石高原町内への有線放送での告知(説明会前日・当日)
- ・ 事業募集説明会を実施(H30年7月17日、19日、8月8日、9日): 合計4回、参加団体4件
- ・ 個別相談会実行(7月2日~8月31日、随時): 合計、参加団体2件
- ・ 募集締め切り時(H30年8月31日)、申込件数および金額(4件、0.95億円)
- ・ 申込者面談および案件相談の実施(H30年9月前半にて全先実施)
- ・ 最終申込件数(3件、0.85億円)
- ・ 事務局にて、チェックシートによる事業計画内容を検討(H30年9月前半)
- ・ 第2回事業評価選定委員会の開催(H30年9月27日)、支援候補を理事会に答申

- ・理事会にて、支援先の選定を採択(H30年9月27日)
 - ・案件採択件数および金額(1件、1,000万円)
 - ・資金支援先との個別協議、調整(H30年9月27日～)
-
- ・第3回申込募集(期間：H30年12月4日～H31年1月31日)
 - ・事業募集説明会の神石高原町内への有線放送での告知(説明会前日・当日)
 - ・事業募集説明会を実施(H30年12月12日、13日、H31年1月9日)：合計3回
(うち1回は事業計画作成講習も併せて実施)参加団体5件
 - ・個別相談会実行(H30年12月14日～1月31日、随時)：合計、参加団体2件
 - ・募集締め切り時(H31年1月31日)、申込件数および金額(3件、0.82億円)
 - ・申込者面談および案件相談の実施(H31年2月前半にて全先実施)
 - ・最終申込件数(3件、0.82億円)
 - ・事務局にて、チェックシートによる事業計画内容を検討(H30年2月前半)
 - ・第3回事業評価選定委員会の開催(H31年2月19日)、支援候補を理事会に答申
 - ・理事会にて、支援先の選定を採択(H31年2月19日)
 - ・案件採択件数および金額(1件、継続して実行要件を先方と調整中。調整後に公表予定)
 - ・資金支援先との個別協議、調整(H31年2月後半より継続中)

【支援先及び事業内容の概略】

⇒採択した案件(実行要件を通知しての検討中案件は除く)は以下の1件

- ① ㈱フェアトラベルジャパン：資金支援額 1,000万円(申込金額 3,000万円)
(支援対象)古民家を活用したゲストハウス運営事業の修繕資金
(実行要件)資金は修繕部分に充当

【資金支援先についての今後の取り組み】※次年度への引継ぎ事項

- ・支援未決定先の最終資金支援スキームの検討と確定
- ・支援未決定先に対する資金支援の実行契約書大枠の確定
- ・支援未決定先の支援体制の検討と確定
- ・支援未決定先の支援に関するスケジュールの検討
- ・実際の資金的支援の開始
- ・実際の経営的支援の開始

<上記事業を運営する事業体への事業資金支援>

●今年度は第3回募集の㈱フェアトラベルジャパン(1,000万円)を実施済み。

これまでの第1回募集の中ちゃん農園(200万円)、㈱ヴィレッジホーム光末(1,000万円)とあわせて合計3件に対する、資金的支援及び伴走支援をそれぞれ継続して実施している。

<上記事業を運営する事業体への事業運営支援>

●今年度は㈱フェアトラベルジャパンへの経営的支援に対しては今年度内には、体制を検討して終わった。次年度以降に具体的な経営的支援を実施する。

●第1回の中ちゃん農園、および㈱ヴィレッジホーム光末は、事業運営支援を継続中。特に中ちゃん農園に関しては、当法人で資金的支援を実施後に発災した H30 年夏の西日本豪雨被害により、神石高原町地域でも多数の被害が発生したが、同法人でも作物被害が発生。そこで経営的支援として、リカバリーを目的にふるさと納税によるガバメント・クラウド・ファンディングの実行をサポートした。全国各地から 110 万円を超えるご寄付をいただき、再スタートの基盤とした。次年度にはそれらを原資として新たに休耕田を再開して、コメ作りを進める。また、ヴィレッジホーム光末では、広島県などからも事業に対する期待も高く、当基金からの資金的支援がきっかけとなって、オール広島での陣容での支援も整いつつある。

<その他、当法人の目的を達成するために必要な事業>

●組織基盤の確立と運営

【評議員会】 H30 年 5 月 25 日

H29 年度の決算および事業活動報告と H30 年度の予算および事業活動計画の承認

【理事会】

<第3回理事会> H30 年 5 月 15 日

- ・ H29 年度の決算および事業報告書の検討
- ・ H30 年度の予算および事業計画書の検討
- ・ H30 年度の公募方針の確認
- ・ 公益法人化に関する方針の検討

<第4回理事会> H30 年 9 月 27 日

- ・ 第2回募集案件について検討
- ・ 事業評価選定委員会からの答申を受けて事業者の最終選定(1 事業者を採択)

<第5回理事会> H31 年 2 月 19 日

- ・ 第3回募集案件について検討
- ・ 事業評価選定委員会からの答申を受けて事業者の最終選定(1 事業者を要件付き採択)
- ・ 公益財団法人化については H31 年度中に申請することを確認

【公益法人化】

理事会での方針決定を受けて、広島県公益認定等委員会及び所管する広島県庁と公益財団法人への移行に向けて協議を進めている。令和元年の秋口には公益化を目指している。

【事業評価選定委員会】

<第2回評価選定委員会> H30 年 9 月 27 日

- ・ 第2回の募集案件の検討と採択
- ・ 事務局で整理した事業案件についての審査を行い、理事会に対して選定を答申

<第3回評価選定委員会>H31年2月19日

- ・第3回の募集案件の検討と採択
- ・事務局で整理した事業案件についての審査を行い、理事会に対して選定を答申

●業務運営基盤の継続運営

- ・経費処理プロセスの確定と運営
- ・担当税理士の選定と方針等を共有しての運営の実行
- ・公益法人化をめざして、運営体制の継続改善を実行

●収益基盤の確立

・ふるさと納税紹介サイト「ふるさとチョイス」で、ふるさと納税の使い道として、チャレンジ基金が選べるようになり、実績として、合計269万円の寄付を頂戴し、基金の運営支援の資金プールとし利用できるようになった。

<https://www.furusato-tax.jp/japan/prefecture/usage/34545>

- ・直接寄付の合計は団体1件、100万円で、合計、100万円であった。
- ・引き続き地元金融機関に対して、基金の運営状況の説明と事業募集への協力と共に、基金への寄付依頼を行った。
- ・また地元の有力企業、団体などについて、基金の運営状況説明と事業募集の説明、基金への寄付依頼を行った。

●基金の広報関連

- ・ホームページ(jinseki-kikin.jp)の開設：トピックス記事18件掲載
- ・ニュースリリースの公開、合計4件
- ・フェイスブックアカウントの開設：いいね41件、フォロワー45名各種リーチは300名以上、ニュースは常時アップし、合計22件以上発信(HPにも掲載)
- ・関連記事の新聞掲載：合計掲載2件
- ・基金関連メディア掲載記事は合計2件
- ・企業および団体への周知挨拶実施：合計6件

●後援・協賛・協力名義について

1.以下の事業に共催・後援・協力名義の使用を許可した。

【共催】

特になし

【後援】

特になし

【協力】

特になし

2.チャレンジ基金として、以下の会合に参画・提言を行った。

CHALLENGE

神石高原地域創造チャレンジ基金

■[会議参加]

特になし

3.チャレンジ基金が、加盟している団体、連合体は以下の通り

神石高原町法人会

第1号議案：

前年度の決算は以下の通りである。

正味財産増減計算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

一般会計

(単位：円)

科 目	当 年	前 年	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取寄附金	[1,710,904]	[100,000]	[1,610,904]
受 取 寄 附 金	0	100,000	△ 100,000
受 取 寄 附 金 振 替 額	1,710,904	0	1,710,904
② 受取補助金	[5,000,000]	[3,300,000]	[1,700,000]
受 取 補 助 金	5,000,000	3,300,000	1,700,000
③ 雑収益	[454]	[88]	[366]
受 取 利 息	454	88	366
経 常 収 益 計	6,711,358	3,400,088	3,311,270
(2) 経常費用			
① 事業費	[4,177,716]	[1,713,704]	[2,464,012]
役 員 報 酬	300,000	150,000	150,000
業 務 委 託 費	2,439,612	915,840	1,523,772
旅 費 交 通 費	1,414,950	638,591	776,359
通 信 運 搬 費	11,274	6,577	4,697
租 税 公 課	10,800	0	10,800
支 払 手 数 料	1,080	2,696	△ 1,616
② 管理費	[2,407,746]	[1,654,884]	[752,862]
役 員 報 酬	300,000	150,000	150,000
業 務 委 託 費	1,045,548	915,840	129,708
謝 金	291,404	0	291,404
旅 費 交 通 費	540,833	542,168	△ 1,335
通 信 運 搬 費	17,059	5,509	11,550
消 耗 品 費	0	17,731	△ 17,731
地 代 家 賃	30,000	15,000	15,000
租 税 公 課	1,000	2,800	△ 1,800
支 払 手 数 料	181,902	5,836	176,066
経 常 費 用 計	6,585,462	3,368,588	3,216,874
当期経常増減額	125,896	31,500	94,396
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	[0]	[0]	[0]
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経常外費用	[0]	[0]	[0]
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	125,896	31,500	94,396
法人税、住民税及び事業税	125,896	0	125,896
当期一般正味財産増減額	0	31,500	△ 31,500
一般正味財産期首残高	3,031,500	3,000,000	31,500
一般正味財産期末残高	3,031,500	3,031,500	0
II 指定正味財産増減の部			
受 取 寄 附 金	1,000,000	10,000,000	△ 9,000,000
受 取 補 助 金	2,696,000	0	2,696,000
一般正味財産への振替額	1,710,904	0	1,710,904
当期指定正味財産増減額	1,985,096	10,000,000	△ 8,014,904
指定正味財産期首残高	10,000,000	0	10,000,000
指定正味財産期末残高	11,985,096	10,000,000	1,985,096
II 正味財産期末残高	15,016,596	13,031,500	1,985,096

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| (1) 固定資産の減価償却方法 | 有形固定資産・・・定額法
繰延資産・・・均等償却 |
| (2) 消費税等の会計処理 | 税込方式 |

2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高 (単位：円)

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当 期 末 残 高
	0	0	0
合 計	0	0	0

3. 特定資産の増減及びその残高 (単位：円)

科 目	当 期 首 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高
普 通 預 金	13,000,000	3,696,000	1,710,904	14,985,096
	0	0	0	0
合 計	13,000,000	3,696,000	1,710,904	14,985,096

4. 特定資産の財源の内訳 (単位：円)

科 目	金 額	うち一般正味財産 うち指定正味財産 うち負債に対応する額		
		からの充当額	からの充当額	
普 通 預 金	14,985,096	3,000,000	11,985,096	0
	0	0	0	0
合 計	14,985,096	3,000,000	11,985,096	0

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年	前 年	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	40,190,771	31,872,366	8,318,405
流動資産合計	40,190,771	31,872,366	8,318,405
2 固定資産			
(1) 特定資産			
現金預金	14,985,096	13,000,000	1,985,096
特定資産合計	14,985,096	13,000,000	1,985,096
(2) その他の固定資産			
投資有価証券	22,000,000	0	22,000,000
その他の固定資産合計	22,000,000	0	22,000,000
固定資産合計	36,985,096	13,000,000	23,985,096
資産合計	77,175,867	44,872,366	32,303,501
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	2,064,282	1,831,680	232,602
未払法人税等	71,000	0	71,000
預り金	23,989	9,186	14,803
流動負債合計	2,159,271	1,840,866	318,405
2 固定負債			
長期借入金	60,000,000	30,000,000	30,000,000
固定負債合計	60,000,000	30,000,000	30,000,000
負債合計	62,159,271	31,840,866	30,318,405
III 正味財産の部			
1 一般正味財産	3,031,500	3,031,500	0
2 指定正味財産	11,985,096	10,000,000	1,985,096
正味財産合計	15,016,596	13,031,500	1,985,096
負債及び正味財産合計	77,175,867	44,872,366	32,303,501

附属明細書

附属明細書に記載すべき事項は、財務諸表に対する注記に記載した。

CHALLENGE

神石高原地域創造チャレンジ基金

平成30年度 事業別正味財産増減計算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

一般会計

(単位：円)

科 目	産業振興・ 地域活性化支援事業	法人会計	法人合計
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取寄附金	[827,609]	[883,295]	[1,710,904]
受 取 寄 附 金	0	0	0
受 取 寄 附 金 振 替 額	827,609	883,295	1,710,904
② 受取補助金	[3,350,000]	[1,650,000]	[5,000,000]
受 取 補 助 金	3,350,000	1,650,000	5,000,000
⑤ 雑収益	[107]	[347]	[454]
受 取 利 息	107	347	454
経 常 収 益 計	4,177,716	2,533,642	6,711,358
(2) 経常費用			
役 員 報 酬	300,000	300,000	600,000
業 務 委 託 費	2,439,612	1,045,548	3,485,160
謝 金	0	291,404	291,404
旅 費 交 通 費	1,414,950	540,833	1,955,783
通 信 運 搬 費	11,274	17,059	28,333
消 耗 品 費	0		0
地 代 家 賃	0	30,000	30,000
租 税 公 課	10,800	1,000	11,800
支 払 手 数 料	1,080	181,902	182,982
経 常 費 用 計	4,177,716	2,407,746	6,585,462
当期経常増減額	0	125,896	125,896
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	[0]	[0]	[0]
(2) 経常外費用	[0]	[0]	[0]
当期経常外増減額	0	0	0
他 会 計 振 替 額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	0	125,896	125,896
法人税、住民税及び事業税	0	125,896	125,896
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	3,031,500	0	3,031,500
一般正味財産期末残高	3,031,500	0	3,031,500
II 指定正味財産増減の部			
受 取 寄 附 金	1,000,000	0	1,000,000
受 取 補 助 金	2,696,000	0	2,696,000
一般正味財産への振替額	827,609	883,295	1,710,904
当期指定正味財産増減額	2,868,391	△ 883,295	1,985,096
指定正味財産期首残高	5,000,000	5,000,000	10,000,000
指定正味財産期末残高	7,868,391	4,116,705	11,985,096
正味財産期末残高	10,899,891	4,116,705	15,016,596

財産目録

平成31年3月31日現在

(単位：円)

科目	場所・物量等	使用目的等	金額
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	手元現金	運転資金として	0
普通預金	福山市農業協同組合三和支店	運転資金として	40,089,655
	広島銀行油木支店	運転資金として	101,116
		流動資産合計	40,190,771
2 固定資産			
(1) 特定資産			
普通預金	広島銀行油木支店	使途指定寄付金 寄附者の指定した用に供するために管理している	9,289,096
	福山市農業協同組合三和支店	使途指定補助金(事業支援先分) 町の指定した用に供するために管理している	2,696,000
	広島銀行油木支店	設立時拠出金 運用益を公益目的事業の用に供している	3,000,000
		特定資産合計	14,985,096
(2) その他の固定資産			
投資有価証券	中ちゃん農園	地域振興事業に係る私募債	2,000,000
	ヴィレッジホーム光末	地域振興事業に係る第三者割当増資分株式	10,000,000
	フェアトラベルジャパン	地域振興事業に係る私募債	10,000,000
		その他の固定資産合計	22,000,000
		固定資産合計	36,985,096
		資産合計	77,175,867
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金		事務業務委託費	2,034,282
		事務所家賃(第2期1年分)	30,000
未払法人税等		源泉所得税	71,000
預り金			23,989
		流動負債合計	2,159,271
2 固定負債			
長期借入金	事業資金借入	神石高原町	60,000,000
		固定負債合計	60,000,000
		負債合計	62,159,271
III 正味財産の部			
1 一般正味財産			3,031,500
2 指定正味財産			11,985,096
		正味財産合計	15,016,596

監査報告書

一般財団法人神石高原地域創造チャレンジ基金

代表理事 上山 実 殿

私は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事は、理事等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

令和元年5月15日

一般財団法人神石高原地域創造チャレンジ基金

監事

本郷 唯子



監査報告書

一般財団法人神石高原地域創造チャレンジ基金

代表理事 上山 実 殿

私は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事は、理事等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

令和元年5月15日

一般財団法人神石高原地域創造チャレンジ基金

監事

岡崎武志

第 2 号議案

【今年度の事業活動方針】

<事業計画の基本方針>

極端に少子高齢化と人口減少が進行した神石高原町であるからこそ、次代を担う人材の新しいチャレンジをどんどん応援することで新しい事業創造を図り、地域の活性化、にぎわい創出に繋がっていきたいという決意のもとにスタートをきった神石高原地域創造チャレンジ基金は、第 3 年度を始めるにあたり、さらに拡大して地域の活性化をめざして運営してまいります。

引き続き「住民主役事業」に対し、本年度も合計 3,000～5,000 万円程度の資金支援実行をめざします。現在までに採択された事業先に対しては実行要件をクリアしたうえで、資金支援実行を確実にいき、各支援案件に対しては支援先と協議を進め、経営的にも妥当でかつ支援先が望む形での経営実行の支援を実現していきます。継続支援を通じて各案件の事業価値が向上し、長期的に当初の資金支援部分が基金に償還されることで、地域資源が循環してその時点での地域活性化を目指して事業チャレンジする対象に資金支援が実行できることを目指します。また、全国的にもユニークな新しいタイプの基金として積極的に広報すると共に、横展開を図っていきます。

基金からの資金支援および運営に振り向ける資金を引き続き、民間からも広く寄付を募集。本年も継続獲得をめざして募集広報活動を実施いたします。

<本年度の実行目標>

- 事業募集の継続（年 2 回）説明会、個別相談会の運営、事業評価選定委員会の開催
- ビジネスチャレンジ事業者を継続して呼び込むために、他団体と協働して事業計画勉強会などの取組を継続する
- 既存支援先に対しては次年度引継ぎを的確に行い、経営的支援など具体的支援を継続し、ビジネス事業者の経済的・事業的な自律を目指す
- 念願である公益法人化を果たし、個人、NPO、金融機関、企業等法人からの寄付を拡大する
- 神石高原町に留まらず、内外での認知度を継続して向上させる

<本年度のスケジュール>

- ・ 7 月～8 月：第 4 回事業募集
- ・ 9 月：第 4 回支援先採択
- ・ 10 月以降：案件毎順次支援開始
- ・ 12 月～1 月：第 5 回事業募集
- ・ 2 月：第 5 回支援先採択
- ・ 3 月以降：案件毎順次支援開始

以上

第3号議案

【今年度の予算計画】

正味財産増減計画書

令和元年（設立3年目）

科 目	令和元年度
一般正味財産増減の部	
1 経常増減の部	
(1) 経常収益	
① 受取寄附金	[3,300,000]
受 取 寄 附 金	0
受 取 寄 付 金 振 替 額	3,300,000
② 受取補助金	[7,000,000]
受 取 補 助 金	5,000,000
受 取 補 助 金 振 替 額	2,000,000
③ 雑収益	[300]
受 取 利 息	300
	0
経 常 収 益 計	10,300,300
(2) 経常支出	
① 事業費	[6,460,000]
役 員 報 酬	300,000
給 与 手 当	2,520,000
旅 費 交 通 費	1,450,000
通 信 運 搬 費	50,000
広 告 宣 伝 費	100,000
会 議 費	20,000
支 払 手 数 料	2,000,000
雑 費	20,000
② 管理費	[3,750,000]
役 員 報 酬	300,000
給 与 手 当	1,810,000
旅 費 交 通 費	550,000
通 信 運 搬 費	30,000
消 耗 品 費	10,000
地 代 家 賃	30,000
租 税 公 課	10,000
支 払 手 数 料	1,000,000
雑 費	10,000
経 常 費 用 計	10,210,000
当期経常増減額	90,300
2 経常外増減の部	
当期経常外増減額	0
税引前当期一般正味財産増減額	90,300
法人税、住民税及び事業税	71,000
一般正味財産期首残高	3,031,500
一般正味財産期末残高	3,050,800
指定正味財産増減の部	
受 取 寄 付 金	1,000,000
受 取 補 助 金	2,700,000
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	3,300,000
指定正味財産期首残高	11,985,096
指定正味財産期末残高	9,685,096
II 正味財産期末残高	9,775,396

第4号議案

理事の選任

[理事候補]

上山 実(再任)

小林 正和(再任)

井上 義雄(再任)

以上

- ロゴマークについて -



自然豊かな神石高原の山々と広い大空を背景にこの地域での新しいビジネスチャレンジが展開され、頂きを目指して、躍進続けていくことを願い、その思いをこのシンボルマークに込めました。

- 法人の概要 -

一般財団法人 神石高原地域創造チャレンジ基金 (略称:神石高原チャレンジ基金)

住 所 : 広島県神石郡神石高原町小畠 2 0 2 5 番地 (神石高原町役場内)

法人の設立年月日 : 平成 29 年(2017 年)9 月 29 日

評議員 : 森重純也、平川里土、黒木義昭、

理 事 : 上山 実(代表理事)、小林正和、井上義雄

監 事 : 岡崎武志、本郷順子

ホームページ ⇒ <http://www.jinseki-kikin.jp>

Facebook ページ ⇒ <https://www.facebook.com/jinsekikikin/>